

令和6年(ワ)第23号 ウェブページ削除等請求事件
 原告 部落解放同盟新潟県連合会 外3名
 被告 宮部 龍彦 外1名

証拠説明書(4)

2025/8/27

新潟地方裁判所第一民事部合議係 御中

原告ら訴訟代理人 弁護士 河村 建夫

同 弁護士 近藤 正道

同 弁護士 和田 光弘

同 弁護士 上野 祐

同 弁護士 細野 希

甲号証	枝番	標目	原本・写	作成年月日	作成者	立証趣旨	備考
43	1	Youtube動画「【裁判報告】2025-06-25 新潟地裁 この学校にいる同和地区出身者は何人だ!」	写	2025/6/25	被告宮部	被告宮部が、第2回口頭弁論を報告するYouTube動画において、原告新潟県連が犯罪を行う団体であることを前提にした発言を行ったこと等。	
43	2	甲43の1の録音反訳(抜粋)	写	2025/8/17	弁護士上野祐	甲43-1の録音反訳であり、被告宮部の発言のうち上記立証趣旨に関する部分を抜粋したもの。	
44		平成5年度同和地区実態把握等調査一生活実態調査報告書(抜粋)	写	1995/3	総務庁長官官房地域対策室	全国の同和地区を対象に行われた調査の結果、夫婦の約6割が被差別部落出身者同士の結婚となっていること。「夫婦とも地区(部落)の生まれ」の割合は、年齢階層が高くなるほど多いこと。いわゆる昭和一代生まれである個人原告の親の世代では、多くが部落出身者同士の婚姻だったということ。	

甲号証	枝番	標目	原本・写	作成年月日	作成者	立証趣旨	備考
45		部落解放同盟埼玉県連合会執行委員長による陳述書	写	2025/6/19	部落解放同盟埼玉県連合会執行委員長片岡明幸	「全国部落調査・復刻版」出版差止め裁判の原告248人のうち直接本人が結婚差別を経験しているものが57人、家族親戚が経験しているものは55人にのぼること。	
46		新潟で起きた部落差別事件	原本	2010/11/1	新潟県人権・同和センター	新潟県内でも、さまざまな部落差別が存在していること。特に、結婚差別事件としては、糸魚川自殺事件や、新発田事件などが起きていること。	
47		示現舎HP) 内の「人権探訪 (100) 特別編」	写	2018/11/19	被告宮部	被告は「部落探訪」100回目にあたる2018年11月19日の本投稿で、仮処分決定が出たことによって「全国部落調査」が出版できなくなったので、それに代替するものとして「部落探訪」の掲載を続けていることを自白していること。そのほかにも、自らのウェブへの掲載が「部落の暴露」に当たることを認めていること。また、被告が抱えている部落への差別感情を露骨に表現していること。	